



国際会長主題 「より良い明日のために今日を築こう」 (Building today for a better tomorrow) Jennifer Jones (オーストラリア)

アジア太平洋地域会長主題 「アクション」 (Action) 田中 博之 (日本)  
 東日本区理事主題 「勇気ある変革、愛ある行動！」 山田 敏明 (十勝)  
 東新部部長主題 「心を尽くして、YMCAのために」 小川 圭一 (東京世田谷)  
 クラブ会長主題 「クラブライフを楽しもう」 朝倉 正昭 (東京世田谷)  
 Enjoy your club-life!

会長 朝倉 正昭  
 副会長 松井 直樹  
 書記 松井 直樹

## 2020年6月会報

強調テーマ  
 \* 評価 \*

会計 小原 武夫  
 直前会長 寺門 文雄  
 担当主事 池田麻梨子

### 今月のプログラム

司会 小川 圭一 君

1. 開会点鐘 朝倉 正昭会長

2. ワイズソングと信条 一同

3. ゲストとビジター紹介 朝倉 正昭会長

4. 今月の聖句朗読 峰 毅 君

5. 会食 ありません

6. 皆様からの近況報告

7. ハッピーバースデー (3月30日 小原武夫君)

6月27日 寺門多恵子さん

結婚記念日 (3月2日 小原夫妻)

(3月26日 寺門夫妻)

8. ニコニコ献金

9. 諸報告

10. 閉会点鐘 朝倉 正昭会長

### ↑今月の聖句

苦難のはざまから主を呼び求めると  
 主は答えて私を解き放たれた。

In my distress I called to the Lord;  
 he answered me and set me free.

旧約聖書 詩編 118:5 (峰 毅 選)

### ※ 6月例会プログラム

とき 令和2年6月19日 18:00~19:00

ところ 東京YMCA南コミュニティーセンター3F

電話 03-3420-5361

5月のデータ	会員在籍 11名	例会出席者 日(金) 名	5月のBF 切手 0g 現金 円 累計切手 0g	ニコニコファンド 5月 0円 年度計 56,879円
	出席率 %	メネット 名 メイキャップ 名 ゲスト 名 ビジター 名 合計 名		
	第2例会 ( )	すずらん会参加者 日(木) 名	東京世田谷ワイズメンズクラブは 2019年10月31日 社団法人日本 キリスト教海外医療協力会 (JOCS) に年会費 10,000円を納入し継続しま した。	注: JOCS 献金記録の掲載 すずらん会やコミュニティコンサート ではかねてよりJOCSへの応援を行っ ている。 使用済み切手とワンコインの 献金など。
	<b>5月例会 中止</b>	ゲスト 名 スタッフ 名 合計 名 新型コロナウイルスの影響で		

## ※ 本日のメインプログラム

今日は 1922 年にワイズメンズクラブ国際協会を創設されたポール・ウィリアム・アレキサンダーが 1930 年に行われた第九回大会の基調講演での『なぜ私達は排他的であるべきか』と題してされたスピーチが次代を超えて、ワイズメンズクラブの今後の方向性を示されておりますので、その要約を皆様と共有したいと思っています。是非スピーチを熟読頂き今後の我々の活動の指針としましょう。

(朝倉 記)

### 「なぜ私たちは、排他的であるべきなのか」

1930年ペンシルベニア州・ウイルクスバリ

(Wilkes-Barre) で開催された第9回国際大会でのアレキサンダー国債会長の基調講演の記録より「抜粋」

ポール・ウィリアム・アレキサンダー

Paul William Alexander : 1920年に初のワイズメンズクラブ (オハイオ州、トレド中央クラブ) を、1922年にワイズメンズクラブ国際協会を創設した。国際協会初代会長。家庭裁判所判事としても活躍した。(1888－1967)

ワイズメンズクラブの会員の資格は、人格なのです。「自己犠牲に基づく利他主義」という形で表れる理想主義なのです。ワイズメンは、自分の人生の目的を、仕えられることではなく、仕えることに置く者でなければなりません。

さて、現状を率直に見てみましょう。他の人にいい加減なことを言えないし、自分たちのことをいい加減に考えるのは愚かです。もし、ある人がビジネス上のお付き合い、社交面あるいは健康面で得られるもの、あるいは個人としての利益を求められるのであれば、そういったもの (真の仲間が得られるという利益は、例外かもしれませんが) をふんだんに提供するように作られた素晴らしい団体が他にあります。しかし、人類に役立つ機会を広げることが求めらるならば、私たちの団体は、その機会に最も豊に恵まれているでしょう。

私たちの国際協会が8年前に誕生したアトランティックシティのコンベンションホールに、ふたつの巨大な旗が掲げられていました。ひとつには、「若者は幻を見る」という銘が書かれてあり、もうひとつには「幻がなければ民はちりぢりになる」とありました。このふたつの言

葉は、私たちのワイズメン運動という布を織りなす縦糸と横糸になっています。幻をつかみ、ニーズを感じ取り、衝動を感じ、ひらめきを活かす力の無いものは、ワイズメンになる資格がありません。

それは、人材こそ私たちの誇りであるという、ワイズにしか見られない基準を大切にしたいからです。この基準こそ、世界中のワイズメンズクラブが、優れたメンバーの資質として抱いてきたと言われる個人としてのそして団体としての理想主義なのです。新しいメンバーを迎えるために、あるいは古くからのメンバーを引き止めるために、この根本的な必要条件である理想主義をほんの1%でも割り引くことは、私たちの運動の心臓部に対する一撃を意味するのです。

すべてのワイズマンは、YMCAは、世界中で明日の市民である青少年を大切にする、教会に次いで大きな人格の形成機関であることを知っています。YMCAは、学校や大学に次ぐ大きな教育機関でもあります。YMCAは、体育教育や体の発達において世界をリードする存在です。

YMCAは、また、異なる信条、カースト、文化という形で立ちの壁を打ち倒すことにおいて誰にも引けをとりません。YMCAは、ほとんどあらゆる国において、その働きによって、国と国との間を、民族と民族の間を引き裂く誤解や偏見に反対し、そしてそのために、常に愛国心を決して非難せずに称え、世界平和のための力強い原動力となっています。

ワイズマンの中心的目的は、その目的に関する声明書に示されているとおり、YMCAが提供しているプログラムの全てのフェーズにおいてこれを推進し、個人としての、そして団結した努力によって積極的に、勤勉に奉仕することです。

YMCAの土台である目的に真摯に共感し、それに献身することであり、それをそれぞれの地でまた、国際的に実現することです。

(翻訳、：田中博之)

## ※ 世田谷ワイズメンズクラブの皆様

YMCA 保育園 ねがい

高橋 里香 園長

YMCA 保育園 ねがいの園庭や玄関前を花で飾っていた  
だきありがとうございます。



4月20日から休園していた保育園もゴールデンウィーク後から応急保育の利用者（仕事でどうしても預けたいという方）が増えてきました。増えたといっても一番多い日で9名でした。緊急事態宣言が解除されたので、保育園は6月1日からは、自粛保育に変更となります。

今年度56名在園者がいますが、約7割の子どもたちが戻ってくる予定です。毎日登園する子や、

週に2日・3日登園する子、もう一ヶ月自粛しますと様々なご家庭がいらっしゃいます。

6月1日(月)から子どもたちの笑顔、声が戻ってくると思うと、今から楽しみです。とは言え、コロナが完全に無くなった訳ではないので、衛生面・3密を考えながら保育者たちは保育をしています。

ワイズメンズクラブの皆様にも来園の際には、検温や消毒などを行っていただきたいと思いますので、ご協力の程よろしくお願い致します。

これからもよろしくお願い致します。

(写真はカボチャの苗を植える子供さんと、めだか池の睡蓮をのぞく子供さんたちです)

## ◎ 闘病記

佐藤百合子さん

骨折とはこれ如何に！この度、2020年2月15日に右手を骨折し、現在はリハビリに励んでいます。

右手の肘近くと手のひらの薬指の下の方、手首の近くの3か所です。自宅まで、転んでしまい、近くの人に助けられました。最初は、痛くて痛くてなかなか起き上がれませんでした。でも骨折しているとは思わなかったのですが、あんまり痛くて眠れなかったのが、翌日お医者さんに行きました。なぜ当日来なかったのかと怒られてしまいました。ギプスをし、痛み止めをもら

って帰ってきましたが、中々眠れませんでした。なぜ、転んだのかと思いましたが、私ももう歳かと思い、少し残念な気持ちでした。

1か月たってやっとギプスが取れましたが、今度は電気治療とリハビリです。これが痛い。毎日毎日、これでもかというくらいで、骨折しているときよりも痛かったです。それが日曜日と水曜日を除く毎日行くわけです。今日で1か月たちました。だいぶ曲がるようになって来ましたが、まだ力が入りません。リハビリはギプスをしているときの3倍は最低かかるものと言われていましたが、その通りです。今でもリハビリの時は痛みます。もう少しと頑張っている時、小川様から歌声サロンのお誘いをいただき、張り切って参加しています。まだ右手は十分とは言えませんが、頑張っています。皆さんも、どうか気を付けてください。

## ※ 懐かしい写真をご覧ください。

諸先輩方の残された遺産は何か？

故：富田さん、杉山さんと沖縄を訪問 2007.1.24



## ※ 会長通信 2006

コロナの影響で社会のあらゆる活動が制約を受け息苦しい日が続きます。我々の活動も急ブレーキがかかりストップしてしまいました。否応なしに在宅の自粛中TVの報道番組を聞き流す毎日です。各種の番組の論調から私が感じるのは例え、今のコロナ禍が収束してもコロナ以前には戻れないという事です。

新しい生活様式に代表されるように今まで何気なしにしていたことでも、今迄やってきたやり方では通用しないという事です。会社に通勤するのも、時差通勤であったり、在宅勤務であったりです。ニュースを見ていて時差出勤や在宅勤務が出来ない職種や職業がある事に気が付きます。今後の社会を考えると、これらの職種や職業は、ITを介してやり方を変えないと生き残る事が出来ないだろうと感じます。今経済界ではやりの言葉は、SDG (Sustainable Development Goal) 持続可能な目



標です。今までは効率一辺倒であったのが多少効率は悪くてもITの活用で長期持続的に成長を図る事が出来なければ生き残れないという事です。私は今暇なので以前読んだ本を引っ張り出して読んでいますが、英国のChristopher Lloydという文化人類学者が書いた『137億年の物語』を興味深く読んでいます。彼の主張は地球の137億年の歴史で強者が生き残ってきたのではなく、どんなに弱くても置かれた環境の適応出来た動物、植物が生き長らえるということです。ダーウィンの進化論は正に適者生存を論理的に説明したものです。なぜChristopher Lloydの主張が興味深いかというと、コロナ禍の中で今後の環境に我々ワイズクラブが適応して生き残れるかを示唆していると考えからです。それではどのように適応するかといえば、いわば弱者同士を私のかねてからの主張である『繋げる』ことに掛かっていると思います。『繋げる』のは繋がる同士が、お互いに繋がる事でどのようにご利益を見つける事に掛かっていると考えています。繋がる片一方にご利益があっても、もう一方にご利益がなければ絶対に長続きしません。今の最大の制約条件は直接顔を長い時間かけて合わせ続ける事が出来ない事です。一個人、一組織が繋がっても、大きな力にはなれません。従って、社会的に大きな力を発揮するためには必然的に複数の個人、組織が繋がらなければなりません。そこで私は今テレビ会議に代表されるITの活用です。我々高齢者にはITを使いこなすというといささかハードルが高いのですが、使いこなすまで行かなくともうまく利用する努力が必要です。ウェブ会議の良いところは、時間、場所、境界(国境)などの今迄の制約を乗り越える事ですし、場所代、交通費もかかりません。そのような場所・時間を超えて、繋がる方々のお互いのご利益がどこにあって、どの様に繋がるかを、会員各位の今までの経験、知見を持ち寄って話し合えば、大きな力になりうると思います。テレビ番組を見ていて、巨大なフードロスを生産者、販売者、物流業者をITで繋げ大変大きくフードロスの削減に寄与しているというニュースを連日見ます。この様な事は我々も大きくお手伝いできるのではないのでしょうか。キーワードはITを活用して繋げるという事です。さあ立ち上がって新様式にチャレンジしましょう。

(朝倉 記)

## ☀ YMCA NEWS

今年はYMCAがキャンプを始めて100周年となる記念の年ですが、新型コロナウイルスの影響でサマーキャンプは中止となりました。代わりに日帰りキャンプやオンラインプログラム等を検討しており、6月中旬にはお知らせの予定です。

南センターでは6月から段階を踏んでプログラムを再開します。英会話クラス、ASCAクラス、中高生カフェはガイドラインに沿って通常通り実施予定です。飲食はご

遠慮いただいています。定例野外活動は、9時30分～12時30分と時間を短縮して実施します。

### ●キャンプ100年Tシャツプロジェクト

全国YMCAの「#はなれていてもつながっている」キャンペーンの一環として東京YMCAは、キャンプを楽しむにしてくれていた子どもたちに、100年記念Tシャツをプレゼントすることにしました。733名のお申込みがありました。会うことはできなくても、楽しいキャンプの思い出を大切に、また再開できる日まで元気に過ごしてほしいと願っています。

### ●キャンプ100年Tシャツを贈ろう！プロジェクト

リーダーOBOGたちを中心にキャンプ100年Tシャツを1枚1,500円で購入すると1枚子どもやリーダーにプレゼントできるというプロジェクトです。多くのリーダーOBOGたちが賛同し、257枚購入してくれました。世田谷ワイズメンズクラブの皆さんからも1万円のご寄付をいただきました。心から感謝申し上げます。

### ●【江東センター】キャンプソングライブに500人！

Youtube上で、キャンプソングのライブ配信を行いました。南センターのメンバー、リーダーたちの多くも視聴しており、「一緒に歌ったよ！」との報告がありました。

### ● 宮田さん紹介文



世田谷ワイズの皆様  
2020年度4月から南コミュニティセンターのスタッフになりました宮田諭(みやたさとる)と申します。メンバーやリーダーからは『あなご』と呼ばれています。よろしく願いいたします。

1998年に東京YMCAへ入職し、山手センター・所沢YMCA・東陽町センター・北海道YMCA・グランチャ東雲を経て南センターへの勤務となりました。私のことをご存知の方は山手センターのスタッフというイメージが強い方がいらっしゃると思います。グランチャ東雲に勤務していた時は、高齢者介護予防運動プログラムも担当しておりました。機会があれば皆さまへ幾つかご紹介したいと思っております。

南センターでは主に野外活動事業を担当いたします。このコロナ禍の影響で、まだボランティアリーダーとは逢ったことがありません。オンラインでインターネットを介して画面上でしか対面していない状態です。リーダーたちも、早くメンバーと外で思いっきり遊びたいという願望があります。今はその準備を共にしている状態です。コロナが終息し、皆さまともお逢いできる時を楽しみにしております。これからどうかよろしく願いいたします。